

報道関係者各位

株式会社C&amp;Gシステムズ

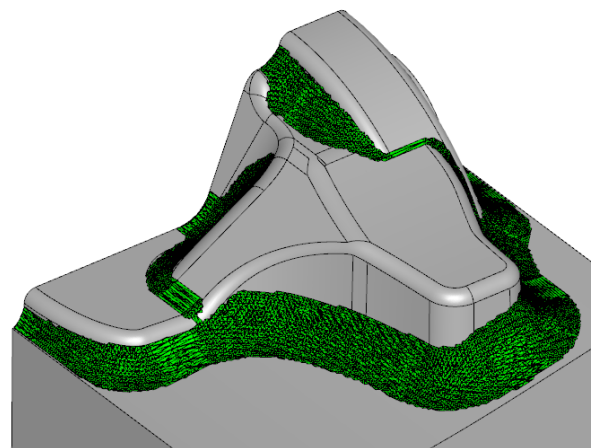
## 大物金型部品のパス生成効率を最適化

～ CAM-TOOL 最新版「V19.1」リリース ～

当社（社長：塩田聖一）は、金型5軸制御マシニングセンター対応CAD/CAMシステム、CAM-TOOL（キヤムツール）の最新版「V19.1」（本バージョン）を4月にリリースいたします。

本バージョンでは、大物加工の効率化を図る「刃先形状フィレット」コマンド（本機能）を新設しました。

従来版でも、コーナー部などの工具の2点接触を回避するため、刃先の形状を考慮したフィレットを演算時に内部処理してパスを生成していますが、大物加工などの際に、多くの演算時間がかかり、非効率なケースがあります。この課題を解決するため、本機能では工具情報から刃先形状（ボールまたはラジウス）のフィレットを3次元図形としてレイヤーに保存し、別工程として再利用可能にしました。作成された同フィレットに対して最適なプロファイル（工程設定データ）の指定が可能となることで、オペレーターの作業工数や演算の時短効果が見込まれ、特に大物金型部品のパス生成効率が格段に向上します。

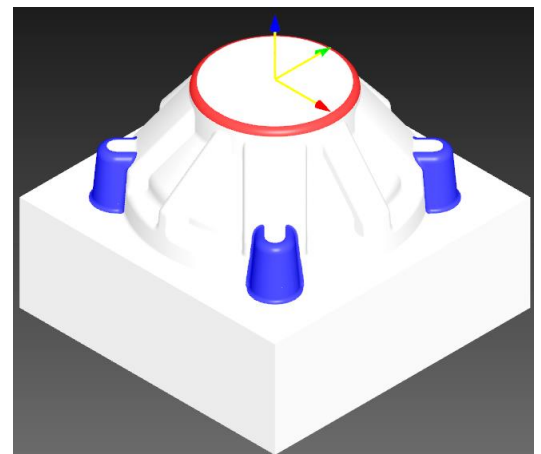


刃先形状フィレットの作成イメージ

### モデル変更箇所の特典機能

3次元モデルの変更箇所を可視化する「モデル変更部位抽出」コマンド（本機能）を新設しました。

これまで、設計変更などが発生した場合に、オペレーターは2つのモデルを重ねて目視で特定する作業が発生していました。本機能では、基準形状と変更形状から変更部位を自動抽出することが可能となり、設計変更箇所を容易に可視化することが出来ます。また差異部の領域に対する加工定義やパス生成が可能になるなど、視認性や作業性が大きく改善します。

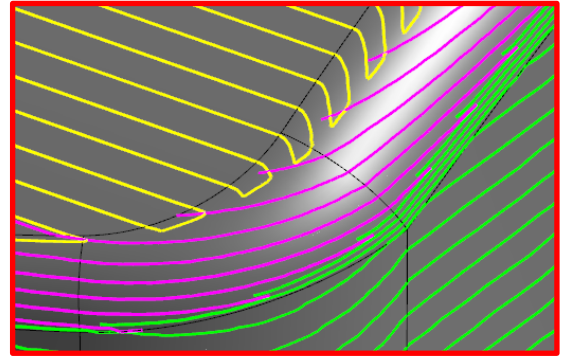


モデル変更部位の抽出イメージ

2023年3月6日

### 工具接触点 CL 表示機能

現在、加工範囲の確認は「工具中心」または「工具先端」の工具位置情報（カッターロケーション：CL）による表示で行っていますが、隣接した加工範囲を径やタイプが異なる工具で切削する際に、CAM での削り残しの確認が困難なケースがあります。この課題を解決するため、「工具接触点」による CL 表示（本機能）を可能にしました。本機能により、バレルやレンズなどタイプが異なる工具を使用する場合でも加工範囲表示の再現性が向上します。



工具接触点 CL 表示のイメージ

### 59 項目の機能を開発

この他、オペレーションや加工パスの最適化、ツーリング干渉回避の精度向上、モデリング機能の拡張など、59 項目の機能を開発しました。

\* \* \*

### 【製品価格】

- ・CAM-TOOL 3 軸仕様 : ¥5,200,000 -
- ・CAM-TOOL 同時 5 軸仕様 : ¥6,400,000 -

※価格は税別、保守料別、モジュール構成により変動

### 【当社の基本情報】

- ・設立 : 2007年7月2日 (※1)
- ・資本金 : 5億円
- ・事業内容 : CAD/CAM システム、生産管理システム等の開発、販売、サポート

(※1) 当社は、2007年にコンピュータエンジニアリング社（1978年設立）とグラフィックプロダクツ社（1981年設立）が経営統合し、その後、2010年に合併して発足した CAD/CAM ソリューションメーカーです。

※記載されている会社名・団体名、製品名・サービス名等は、各社・各団体の商標または登録商標です。

2023年3月6日

### 本件に関するお問い合わせ

(株) C & G システムズ 広報担当 伊沢 達也 (Izawa Tatsuya)

東京本社 (東京都品川区)

TEL 03-6864-0777 FAX 03-6864-0778

北九州本社 (福岡県北九州市)

TEL 093-642-4541 FAX 093-641-3615

E-mail: [cgs\\_pr@cgsys.co.jp](mailto:cgs_pr@cgsys.co.jp)

<https://www.cgsys.co.jp>